

# 【開催報告】

## 山陰海岸ジオパークみんなでおしゃべり6 ～触れてみよう研究の世界 のぞいてみよう研究者の愛～

□日時 2024年1月19日（金）9:30～15:00  
 □場所 鳥取大学コミュニティ・デザイン・ラボ  
 □参加者 21名（ジオパークガイド、行政関係者、その他自然科学に興味がある人）  
 □主催 鳥取大学、鳥取県、山陰海岸ジオパーク推進協議会  
 □協力 鳥取県立博物館

### はじめに

山陰海岸ジオパークでは、地域の方々や研究者、行政関係者、学生等でおしゃべりをしながら、地球科学や生物学の研究成果を学んだり、その活用方法を考えたりするイベント「みんなでおしゃべり」を毎年開催しています。

ジオパークの活動には、地球科学や生物学の知識が大切です。そこで今年度は、参加者が専門家と一緒にその研究手法を体験して、学問の入口に立てる内容にしました。また、一緒に体験して語り合うことで、山陰海岸ジオパーク内の仲を深めたい！というの（裏の）目的でした。

ご参加いただいたみなさま、ありがとうございました！



#### ファシリテーター

大岩根 尚 氏（株式会社musuhi取締役）

プロフィール：東京大学で博士号（環境学）を取得後、南極観測隊を経て鹿児島へ移住。自然ガイドによる地域活性化や教育・人材育成など幅広く活動。

#### 【ファシリテーターから一言】

午前の体験も午後の体験共有の時間も盛り上がっていましたね！  
 夏休みや春休みなどに中高生向けのイベントとしてスピノフもしいいかも思いました！  
 理科教育系や教職課程の学生も含めてスタッフとして入ってもらえる体制を作れると、大学生の教育にもプラスになると思います。



### 午前：各グループに分かれて体験

#### 小さな化石で地球を知る～顕微鏡で観る微化石の世界～

講師：菅森 義晃（鳥取大学農学部）

#### 【講師から一言】

放散虫を見つけるまでが一苦労。見つけたら「私にも見せて」と盛り上がった。「苦労したのでプレパラートにいる放散虫にありがたみを感じた」という声が聞かれた。



#### 最初の一步

#### 「切ってみよう、磨いてみよう、地球のかげら」（オリジナル岩石ペーパーウェイトづくり）

講師：松本 和彦

（山陰海岸ジオパーク海と大地の自然館）



#### 【講師から一言】

石を切った後に参加者がニヤックとしたのが印象的だった。

#### 化石発掘 オンザデスク！

※注 体験で用いた地質試料は教材として販売されているものです。

講師：田邊 佳紀、渡邊 克典（鳥取県立博物館）



#### 【講師から一言】

少人数で参加者と対話をしながら進めることができた。化石を初めて自分の手で見つけるという感動を味わってもらうことを重視した。

#### キョウコのとぎめく砂粒の世界～鳥取大学の足元に眠る地球の記憶～

講師：金山 恭子

（山陰海岸ジオパーク海と大地の自然館）



#### 【講師から一言】

リアルな研究を体験してほしくて露頭から試料を採取することから始めた。スマホで顕微鏡写真を撮りながら和気あいあいとした雰囲気。

#### 顕微鏡で海の昆虫採集～海底の生きた微小動物の観察とソーティング～

講師：太田（小矢野）悠造

（山陰海岸ジオパーク海と大地の自然館）



#### 【講師から一言】

少人数・大人対象は初めてだったが、参加者も楽しんでた。つい口をついて出た専門用語も、初めての人には面白く感じたようだ。

### 午後：みんなでおしゃべり

（各グループの体験共有、講師による解説等）



#### 【講師の感想】

- 参加者から生の声が聞けて、「化石がかわいい」、「きれい」、「葉っぱの破片でも嬉しい」等、講師が予想していたこと以外の感動ポイントに気づかされた。
- 参加者の話しぶりから感動が伝わった。
- 参加者の感想から、研究活動の一つ一つの作業は意外にも「地味」だとうことを再認識した。
- 観察した生物をもっと紹介したかった。

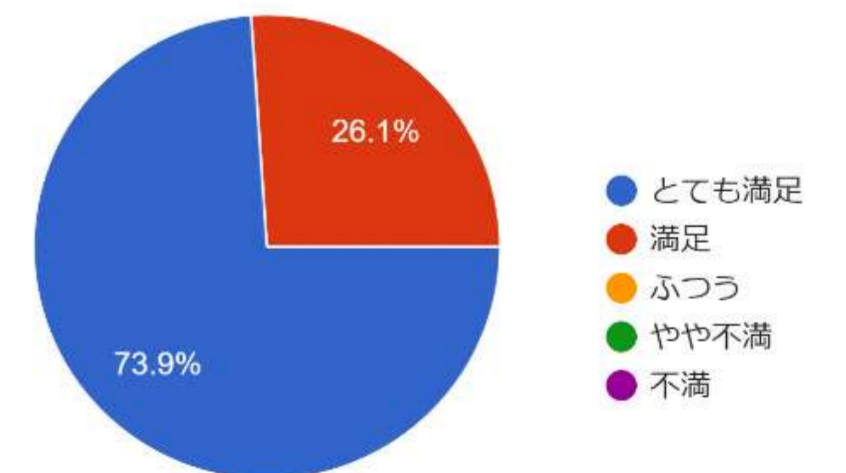


### アンケート結果

#### 【感想】

- レアな体験ができ、研究者や参加者さんたちとも気さくに話ができて、つながりができた。
- 体験を通して、研究手法やなぜその手法なのかなどを学ぶことができ、今後の自分のやりたいことが広がった。
- 研究機関である大学で作業ができたのが良かった。
- 長年、神経生物の研究等を通して自然科学に携わってきた自身からは、地学を通して生命を見る視点がとても新鮮に感じることができ、これからの研究に広がりも感じた。
- 初めて顕微鏡見ながらの作業、難しかったけど楽しかった。
- 午前の体験はもちろんのこと、午後の「実際に体験した人から聞く他のプログラム」が、体験者から「面白かった！」と伝わってきて「みんなでおしゃべり」として大変充実していたように感じた。

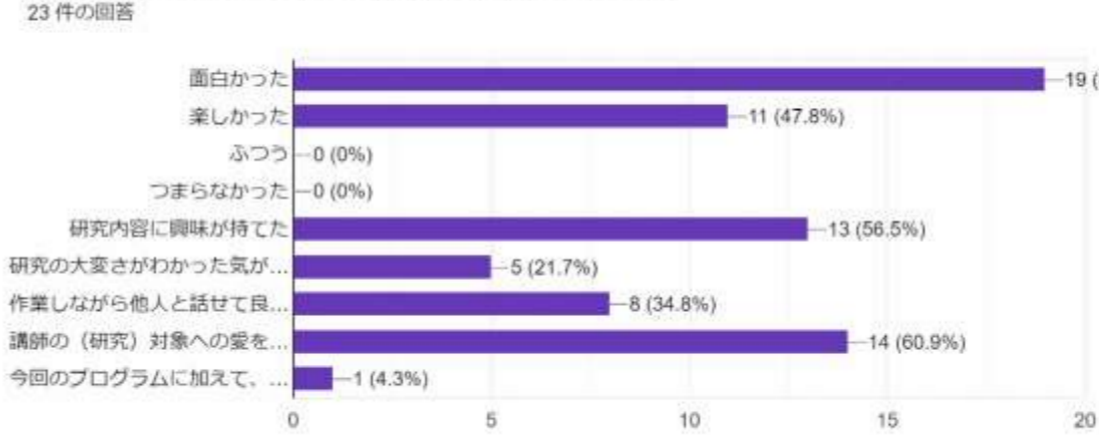
このイベントのあなたの満足度を教えてください。  
 回答：23件



#### 【次回に期待すること・企画委員会に伝えたいこと】

- 次回は違う体験をしたい。 □ もっと知識を深めたい。 □ 野外活動
- 大岩根さんから地元のジオパークや活動についてもう少し聞きたかった。
- この度、自身と異なる分野の研究に触れることができ、この企画への参加させていただいたことを大変感謝しております。企画委員会さんの力になれることがあれば、ぜひお手伝いさせていただきたいとも感じました。人材育成の一環にもなるとても良い活動だと思いますので、他県や他国の研究室とシェアしたり、出向いてフィールドワークをしたり、より充実したものになることを期待しています。
- 中高生が参加して、山陰海岸ジオパークの成り立ちや、関連機関で日々行われている研究を知る機会になると、また違った趣になると思いました。鳥取県の豊かな自然、という定型文の具体を知るにはこうしたイベントに参加して、体感することが大切だと思います。中高生が自然科学を、自分の生活の一部に含むことで環境教育につながることを期待します。

体験したプログラムで得られた感想を選んでください。  
 23件の回答



午後の共有の時間についての感想を選んでください。  
 23件の回答

